

令和5年度 年間指導計画 1・2歳児 のとじま幼児園

園長	主幹	副主幹	担任

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で保健的な環境の下、安心感を持って過ごす。 ●生活に必要な身の回りのことが自らできるように、基本的な生活習慣を身に付ける。 ●自己主張や欲求を受容・共感されることにより、自己肯定感を育む。 ●活動範囲が広がるとともに、歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が充実していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ●共感や共有する体験を通し、友達とのかかわり方を知っていく。 ●日常の環境を通して、様々な素材の音・色・数・形・手触り・味・香りなどに触れていく。 ●語彙の増加により、言葉でのやりとりを楽しむ。 ●見立て遊び・ごっこ遊びなどを通して、象徴機能を育む。 		一年間の保育に対する自己評価			
	学期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
ねらい (養護・保育)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、安心感を持って生活を送る。 ●保育教諭等や友達との触れ合いを通して、十分に遊びを楽しむ。 ●戸外活動の中で春の自然を体感する。 ●保育教諭等や友達の名前を呼んだり、簡単な言葉で思いを伝えたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ●生活が安定し始めることにより、活発に園生活を楽しむ。 ●夏の遊びを十分に楽しみ、自然に親しみ開放的な気分を味わう。 ●製作活動を通して、共感する喜びを知る。 ●興味や関心を持った動きや言葉を模倣して楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭等の手助けが徐々に減り、生活しやすいように簡単な身の回りのことは自ら整えることができる。 ●秋の自然に興味・関心を持つ。 ●保育教諭等の仲立ちの下、相手の気持ちや思いに徐々に気付けるようになる。 ●体を動かすことを十分に楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣や生活リズムを進級学年を意識したものへと移行していく。 ●大人数での遊びを楽しめるようになり、友達とのかかわりが活発になる。 ●冬の遊びを十分に楽しむとともに、冬の生活の仕方を知る。 ●簡単な数、色、形の違いを理解する。 	
園児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな環境に対して喜びや不安を見せつつも、見知った保育教諭等や友達とのかかわり合う姿が見られる。 ●保育教諭等に促されながらも、生活に必要な身の回りのことを自ら行おうとする。また、できないときは知らせてくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●2歳児クラスとしての生活リズムが形成されてくることにより、活動範囲に広がりや深まりを見せる。 ●自然に親しみながら友達と一緒に共感し合う姿が見られる。また、夏バテ気味の子もいる。 ●夢中で製作に取り組む子もいれば、途中で飽きがきて保育教諭等に促される子もいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●好奇心や探究心から行動が活発になり、保育教諭等の手伝いなどを行う子もいる。 ●言葉や表現力が豊かになることにより、遊びや友達との関係が深まり、それとともに思いが伝わらずぶつかり合う姿が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●進級する部屋での活動を喜び子もいれば、新しい部屋に戸惑いを見せる子もいる。 ●集団での遊びを楽しむ中で、ルールへの理解度の違いが見られ、保育教諭等の援助を受ける子もいる。 ●獲得した知識を保育教諭等や友達に知らせたくて、繰り返し話をしようとする姿が見られる。 	
★教育時間 ■教育時間を除いた時間	<ul style="list-style-type: none"> ★できる範囲内の身の回りの始末などを行いながら、生活する上で必要な習慣を身に付ける。 ★春の歌や手遊びを通して、触れ合うことを楽しむ。 ★外気や草花に触れることにより春の自然を感じ取る。 ★食前食後の習慣として、手洗い・挨拶を覚える。 ■家庭的で温かみのある雰囲気の中でゆったりと過ごす。 ■担任の保育教諭や見知った保育教諭等の下で、安心感を持って遊びに打ち込む。 		<ul style="list-style-type: none"> ★保育教諭等に促されながら快適な夏の生活の仕方を知っていく。 ★水遊びや虫探しなど夏ならではの遊びを通して、自然に興味を持つ。 ★様々な素材に触れ、つくる・見立てる・見せ合う・遊ぶといった体験をする。 ■絵本や紙芝居に興味を持ち楽しむ。 ★咀嚼が身に付くようにする。 ■異年齢児と共に戸外で砂遊びや園庭遊びを楽しむ。 ■発見や驚きを保育教諭等や友達に言葉やしぐさで伝える。 ■保育教諭等に促されながらも、午睡後の始末や帰りの身支度など自ら行えるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ★戸外活動では、夏～秋～冬の季節の移り変わりや秋の香りを感じ、自然の豊かさを感じ取る。 ★言葉でのやりとりを楽しみ、会話の中でいろいろな言葉を使うようになる。 ★クレヨンによる描画製作を楽しむ。 ★音楽に合わせて全身をダイナミックに機能させる。 ★苦手な食べ物もひと口でも食べようとする。 ■午睡前後の衣服の着脱や始末を進んでできる。 ■手洗いやうがいなどを丁寧にしようとする。 ■集団で活動する中で、玩具の貸し借りや順番などの約束事を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ★すみれ組の部屋や生活風景を見たり、実際に過ごしてみたりする。 ■集団での遊びの中で簡単なルールを理解する。 ★冬の自然現象を肌で感じ、雪や氷を遊びに取り込み楽しむ。 ★絵の具を使う製作活動やわらべうたなどの中で、色の違いを理解する。 ★はさみによる製作を楽しむ。 ■皿や茶碗を持って、はしを使いこぼさずに食べようとする。 ■自分のものと他人のものとの区別ができる。 ■たくさんの人々とかかわりの中で、他者への意識を深めていく。 ■自分の伝えたいことを、身振り手振りを交えて言葉で表す。 	
■環境構成 ★援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の身の回りのものが判別・認識できるように、靴箱やロッカーなどに個人用のマークや写真を付ける。 ■コーナー遊びでは、前年度の遊び慣れた玩具や遊びが継続できるように整える。 ★活動においては、個々の健康状態に配慮しながら、徐々に2歳児クラスの生活リズムに導いていく。 ★子ども一人一人が習慣を身に付けられるように、必要があれば個別に根気強く教えていく。 ★お話をする際は、落ち着いた雰囲気の中で子どもの目を見ながら話すようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ■個々の健康状態と湿度や気温に配慮して、活動と休息のバランスを取るようになる。 ■帽子や水分補給の準備をするとともに、危険箇所がないか戸外の安全面を確認する。 ■絵本や紙芝居は、内容を振り返る時間を設けて、気に入ったシーンやフレーズなどが心に残るようにする。 ★製作物はごっこ遊び・見立て遊びへと展開できるようにする。 ★子どもが自分でできたことは共に喜び、できないことは部分的に援助し、達成感が持てるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ダングリや紅葉など、秋らしい装飾で部屋を飾り、季節を感じられるようにする。 ■体を動かすことを楽しみ、表現会へとつながるように配慮する。 ■戸外遊びの際は、子どもたちが拾った落ち葉などを製作に使用できるようにバケツを用意しておく。 ★厚着になり過ぎないように気を付ける。 ★友達とのかかわりを見守りつつ、相手の思いや気持ちに気付けるように、言葉が不足しているときは代弁しながら、かかわり方を知らせる。 ★衣服のたたみ方やお弁当箱のハンカチの結び方など、一つ一つ丁寧に確認しながら行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ■室内の温度・湿度に気を配り快適に過ごせるようにするとともに、室外との寒暖差も感じながら、冬の過ごし方を知る。 ■遊びの中に簡単なルールを設け、それを意識できるように配慮する。 ★次年度のクラス担任へ、子どもの個々の心身の健康状態や特徴を伝達する。 ★できたことを十分に認め、喜びを感じられるようにし、次への意欲へつなげていく。 ■保育教諭等の手伝いや日々の活動の中から、数量・色・形などが意識できるように子どもに問いかけたり、子どもの問いに答えたりする。 	
子ども・子育ての支援 (保護者支援)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に対する不安や期待に共感しつつ、子どもの様子を共有し信頼関係を築いていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ●流行の感染症について、症状や予防方法、感染時の園の対応をあらかじめ知らせておく。 ●暑さで疲れが残りがやすい時期なので、早寝・早起き・食事・睡眠といった基本的な生活環境を整えてもらう。 		<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣については、子どもができることや自らやろうとしている意欲を共有し喜び合うとともに、家庭でも根気強く自立に向けて協力してもらう。 ●行事では、練習の風景を知らせるとともに、子どもを十分に認めてあげるように願います。 		<ul style="list-style-type: none"> ●日々のやりとりの中で、一年間の成長や獲得した心情・意欲・態度を振り返りながら、進級へ向けての期待感が膨らむようにする。また、子ども一人一人の発達課題も共有し、育ちの見通しが立つようにする。 ●手洗いの仕方や感染症の発症状況を知らせる。 	
行事	進級式／お花見／こどもの日の集い／内科健診 誕生会		プール開き／夏祭り／歯科検診／誕生会		運動会／表現会／クリスマス会／歯科健診／内科健診／誕生会		お正月遊び会／節分のついで／お店屋さんごっこひな祭り会	